

備後圏域特有のものづくり 人材の育成は



田口 裕司
(50分)
誠友会

問 本市を中心とした備後圏域には、国内や世界でトップシェアを誇る製品や独自の高い技術を持つ企業が非常に多く存在する。その技術力と市場における存在感は非常に大きいと言える。地元企業、大学、金融機

関と連携して、産学官協働の少人数人材育成機関設置についての考えは。

答 福山大学や福山市立大学をはじめ、福山職業能力開発短期大

工学部の開設に向けて現在全力で取り組んでいる。



ものづくり人材

子育て世代への支援は



小島 崇弘
(50分)
誠友会

問 保育の量と質の確保は重要である。待機児童にはカウントされないものの、希望する保育所に入所できていない方の声も伺っている。

答 こどもを安心して生み育てられる環境づくりに停滞があってはならない。子育て家庭の負担軽減に向け、本来、国において全国一律の制度を構築すべき施策についても、国が新たなナショナルスタンダードを示すまでの間、市が先行して対応していくことも選択肢に入れ、さまざまな観点から検討し、新年度の予算編成において判断をしていく。



子育て支援イメージ

福山駅前のまちづくりは



貝原 悠磨
(50分)
誠友会

問 ①ふくまちヒロバラボを4回開催したが手応えや成果は。

答 ①広場の整備や活用に関する意見交換にとどまらず、参加者から将来の広場運営の担い手が出てくる可能性を感じた。今後は広

場協議会の意見に基づき、交通分科会や新たに設ける広場の活用に関する分科会において、たたき台を練り上げていく。

②次回以降の広場協議会では、分科会での検討状況やより分かりやすい鳥瞰図ちようかんずなども示しながら、議論を一步一步積み上げ、あるいはさらに一段と深め、広く市民や関係事業者、各種団体などへの説明も丁寧に行いながら、年度末に向けて基本計画案を作成していく。



福山駅前まちづくり

(仮称)福山市スポーツ施設 再整備計画は



大村 隆正
(30分)
誠友会

問 竹ヶ端運動公園野球場は建築後50年が経過している。竹ヶ端運動公園野球場、陸上競技場について、現時点での今後の具体的な整備の考え方とスケジュールは。

答 屋外スポーツの拠点施設で

あり、早期に整備手法を決定し、大会利用への影響を最小限に抑える必要がある。速やかに耐震診断に着手したいと考えている。診断結果を基に来年度、耐震改修か建て替えかを判断する。整備スケジュールについては、2施設を耐震改修する場合が、工期が最も短くおおむね3年程度、最も長いのは2施設を順次建て替える場合で、少なくとも6年程度は要するものと見込んでいる。

